

加古川市スポーツ推進計画関連事業一覧

1 スポーツ参画人口の拡大						
No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
(1)子どもの体力向上とスポーツ活動の推進						
①	幼児を対象とした運動遊びの充実	なかよし運動会 おひさまクラブミニ運動会	こども政策課	【子育てプラザ】なかよし運動会 令和5年10月17日に日岡山体育館で実施。参加者親子108組の計228名。 【志方児童館】おひさまクラブミニ運動会 令和5年9月29日に志方公民館 大ホールで実施。参加者は親子6組の計13名。	【子育てプラザ】なかよし運動会、お楽しみ会(ヨガ、親子ダンス等) 親子で触れ合いながら運動を楽しむことを目的として、小学生未満の子どもと保護者を対象に実施する。 【志方児童館】親と子のおひさまクラブミニ運動会、お楽しみ会(運動遊び) 年齢に応じたプログラムとし、できるだけ楽しく参加できることを目的として実施する。	子育て世代がより楽しめる充実したイベント、プログラムになるよう、事業実施後のアンケートを行うなど、参加者のニーズ把握に努める。
		加古川スポーツカーニバル(親子ふれあい体操)	スポーツ・文化課	11月3日(金・祝)に開催した「第11回加古川スポーツカーニバル」のプログラムの一つであり、年長～小学3年生とその保護者を対象にして、親子で一緒にできる体操やボール遊びなどを実施した。延81名(40組)の参加があった。	11月3日(日・祝)に市立総合体育館にて開催予定。実施内容については、加古川市スポーツ推進委員会と検討予定。	親子ふれあい体操については、平成30年度より実施しており、今後、より充実した内容となるよう、スタッフや参加者にアンケートを行い、プログラム内容の改善を検討する必要がある。
②	学校におけるスポーツ活動の充実	放課後子ども教室	社会教育課	子どもたちの放課後や休日を充実したものとなるよう、昨年度に引き続き、小学校及び公民館において様々なスポーツ活動を実施。 小学校では、地域のボランティアの指導のもと、ソフトボールやキンボールなどをはじめとして様々なスポーツ活動を実施。 また公民館でも、登録団体や高齢者大学の協力のもと、卓球などのプログラムを実施。	子どもたちの放課後が充実したものとなるよう、昨年度に引き続き、小学校(義務教育学校の前期課程を含む。以下同様)において様々なスポーツ活動の実施を予定。 小学校では、地域のボランティアの指導のもと、卓球やソフトボールなどをはじめとして様々なスポーツ活動を実施予定。 また一部の公民館でも、登録団体や高齢者大学の協力のもと、休日等に卓球などのプログラムを実施予定。	事業を継続的に実施していくにあたり、事業を統括するコーディネーターや活動の中心となる地域ボランティアの確保・育成が課題。また、新たなプログラムの導入を検討する必要がある。
		中学校部活動支援事業	学校教育課	加古川市中学校部活動外部技術指導者数－25名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和5年度配置実績 配置校－11校(中部、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数－16種目(野球1名、バレーボール5名、バスケットボール3名、ソフトテニス2名、陸上競技2名、柔道1名、剣道3名、バドミントン1名、ハンドボール1名、卓球1名、吹奏楽1名、生活1名、コーラス1名、演劇1名、国際交流1名)	加古川市中学校義務教育学校部活動外部技術指導者数－27名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和6年度配置予定 配置校－12校(加古川、中部、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数－未定	教職員の人事異動等により、部活動において、専門的な指導をすることができる教師が不足しており、中学校の部活動支援に対するニーズは年々高まっている。 また、平成29年3月14日に学校教育法施行規則の一部が改正され、部活動指導員が顧問となることが可能となった。加えて、令和3年2月17日付け文科省通知『『学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について』を受けた公立学校の教師等の兼職兼業の取扱い等について』を受けて、本市における部活動についてのあり方を検討するとともに、今後の部活動の地域移行への対応も考慮し、外部技術指導者に係る規則の整備など、引き続き検討していくことが必要である。
(2)ライフステージに応じたスポーツの推進						
①	ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくり	スポーツライフセミナー	スポーツ・文化課	スポーツ実施率の低い20代～50代の方にスポーツを始めるきっかけ作りを提供することを目的に実施。 20代～50代を対象とする「エンジョイコース」については、スポーツ推進委員が指導を行い、全6回(バドミントン・バスケットボール・バラスポーツ)で延63名の参加があった。 親子で参加ができる「小学校コース」については、NPO法人加古川総合スポーツクラブが指導を行い、鳩里小学校と氷丘小学校で、全3回(卓球バレー・ポッチャ)で延88名の参加があった。	スポーツ実施率の低い20代～50代の方にスポーツを始めるきっかけを提供することを目的に実施予定。「エンジョイコース」を加古川市スポーツ推進委員会に、親子でも参加ができる「小学校コース」をNPO法人加古川総合スポーツクラブに協力を依頼し、実施予定。	参加者が減少傾向であるため、事業内容(頻度・開催日時・種目等)の見直しが必要。 参加者がNPO法人総合スポーツクラブに加入するなど、継続してスポーツに取り組むきっかけを創出できるよう、積極的に働きかける必要がある。
②	女性がスポーツに参画しやすい環境整備	アンケートの実施	スポーツ・文化課			スポーツの実施率が低い女性がスポーツに興味を持ち、短時間でも時間を割くことができる事業を検討する必要がある。
③	高齢者スポーツの推進	シニアクラブ活動	高齢者・地域福祉課	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内のシニアクラブ(102クラブ4,785名)が主体となって実施した。	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内の老人クラブ(102クラブ4,785名)が主体となって引き続き実施予定。	シニアクラブ数、シニアクラブへの加入者数とも減少している。
(3)スポーツに関心のない人へのはたらきかけ						
①	スポーツとの多様な関わり方の提案	OCTOBER run&walk 2020 (オクトーバーランアンドウォーク)	スポーツ・文化課	一般財団法人アールビーズスポーツ財団が主催する10月1ヶ月間の中での歩行、走行距離を自治体間で競うイベントに市として参加することで、場所を選ばず各々でスポーツを実施できる機会を市民へ提供した。 結果:全国319自治体中42位、県内13位	実施については連絡がなく未定であるが、実施する場合は公民館や市民センター等の市内各施設、スポーツネットワーク委員会やスポーツ協会等の関係団体へ案内を送付する。	なし
		スポーツ能力測定会	スポーツ・文化課	11月3日(金・祝)に小学校4～6年生を対象に、ジャンプや10mスプリント、バットスイングなどの運動を専用の測定機器でモーションキャプチャの技術を利用し測ることで、自分の特徴や向いているスポーツなどがわかる測定会を実施。176名の参加があった。	11月3日(日・祝)に、小学校4～6年生を対象として、ジャンプや10mスプリント、バットスイングなどの運動を専用の測定機器でモーションキャプチャの技術を利用し測ることで、自分の特徴や向いているスポーツなどがわかる測定会を実施予定。	能力測定会参加後、参加者がスポーツを始めてたのか追跡調査を行い、令和7年度以降の開催について検討する必要がある。

1 スポーツ参画人口の拡大						
No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
②	ライフスタイルに合わせたスポーツ情報の提供	かこがわ・新コンセプトウォーキングコース	スポーツ・文化課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布した。	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布予定。	ウォーキングコースについて予算化されていないため、紙ベースでの在庫がなくなりつつある(市ホームページからも印刷可能)。
		ウォーキングコースの奨励	観光協会	ホームページやSNSを活用した観光モデルコースの紹介等によるまち歩きを推奨した。	ホームページやSNSを活用した観光モデルコースの紹介等によるまち歩きを推奨する。	既存のウォーキングコースのより一層のPR及び新たなモデルコースの検討。
		出前健康講座	市民健康課	市内で活動する団体等を対象にした健康づくりを目的とした健康講座。日常生活の中で行うことができる体操やウォーキングなどについての情報提供を実施。R5年度は、「Let'sチャレンジ！運動習慣」をテーマに3団体に実施。	講座申し込みがあった団体に実施予定。テーマは、「忙しくても大丈夫！無理なく体を動かそう」とし、「ながら運動」やプラス10(テン)について情報提供を行う。	なし
(4)競技スポーツの推進						
①	競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	選手育成機会の提供	スポーツ・文化課	県スポーツ協会が実施する小学生を対象としたスポーツ体験教室や、ジュニアスポーツ教室及び関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトや国体出場選手の大会記録を周知する広報誌等について、市内小・中学校や、スポーツクラブ等へ情報提供を行った。	県スポーツ協会が小学生を対象としたスポーツ体験教室等を実施するとともに、ジュニアスポーツ教室や関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトについて、市に情報提供があれば、市内小学校やスポーツ協会、スポーツクラブへ周知を行う。	子どもたちが参加するイベント等において、申込につながるような周知に努める。
		選手育成コース	運動公園陸上競技場	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、令和5年度水曜コースは472名の参加があり、土日曜コースは767名の参加があった。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、大会出場や自己記録の更新を目的としたトレーニングを行った。令和5年度は728名の参加があった。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会や全国大会の大舞台での活躍を目標とした専門的なトレーニングを行った。令和5年度は128名の参加があった。 ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象、気持ちよく身体を動かす事を基本とし、歩行、筋トレ、ストレッチを行った。令和5年度は314名の参加があり、コロナ禍以前の参加者数となった。 新型コロナウイルスに加え、新たにインフルエンザが流行したが、無事に全日程を終えることが出来た。引き続き、参加者の安全に配慮した、参加しやすい教室開催を目指します。	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、バランスの取れた身体作りを基本とし、春から秋にかけては、短距離走、リレー、走り幅跳び等、冬は長距離走や駅伝の練習を行う。1年を通して参加出来る教室の実施を目指す。 選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、「短距離・跳躍」「中・長距離」班に分けて、大会出場や自己記録の更新を目的としたトレーニングを行う。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会や全国大会の大舞台での活躍を目標とする。砲丸投げ、円盤投げを中心とした専門的なトレーニングを行う。 ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象、気持ちよく身体を動かす事を基本とし、歩行、筋トレ、ストレッチを行う。広報掲載により更なる参加者の獲得を目指す。	①毎年多くの小学生が参加され、地域に浸透している教室なので、より多くの参加者獲得を目指し、参加する生徒さんに満足頂けるような教室を実施する。また、選手育成コースからは、目標大会出場や、自己記録更新を目的とするため、参加者にとってより良い結果につながるよう教室を実施する。 ②教室の参加者、卒業生が、中学、高校に進学し、大会で素晴らしい活躍をしている。引き続き多くの生徒が活躍できるような指導に努める。 ③昨年度のリフレッシュウォーキング教室は多くの新規参加者が増え、地域に浸透しつつある。継続して参加出来る教室開催を目指す。 コロナ禍以降、徐々にではあるが参加者が増加している。広報かこがわを利用し、さらなる参加者数の増加を目指すとともに、参加者の安全に配慮した、参加しやすい教室開催を目指す。
		バスケットボール教室	スポーツ・文化課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内小学生のミニバスケットボールチームに所属する児童を対象に、Bリーグ選手の直接指導による教室を実施した。 日時:令和5年8月19日(土) 場所:総合体育館	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内小学生のミニバスケットボールチームに所属する児童を対象に、Bリーグ選手の直接指導による教室を実施する。 日時:令和6年8月予定 場所:総合体育館	なし。
		バレーボール教室	スポーツ・文化課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生を対象に、Vリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施した。 日時:令和5年7月29日(土) 場所:総合体育館	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生および指導者を対象に、Vリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施する。 日時:令和6年7月予定 場所:総合体育館	なし。
		ニシカワ食品株式会社 パニーちゃんカップ 加古川俊足王決定戦	ウェルネス協会	令和5年5月4日(祝・木)開催。 予選～決勝の方法での開催は、長時間の滞在時間になるため、参加者の多い小学生を3ブロックに分け、中学生ブロックと合わせて、4ブロックに分けての開催。滞在時間を短くでき、スムーズな運営が行えた。ただし、参加費が当日徴収であったが、当日の無断欠席が多かった、次回から、コロナ禍前のように事前支払にした。	走ることは全てのスポーツの基本となることから、スポーツをする子供たちが増えることを目標に加古川俊足王決定戦(50m走)を開催。令和6年5月4日(土)開催予定。8. 9回大会は滞在時間を減らすため、地区ごとの開催でしたが、コロナ禍前の予選～決勝の競技方法に戻し開催。参加費は事前支払いに変更。	コロナ禍前の予選～決勝の競技方法に戻すことによって、駐車場の混雑が予想されるが、警備員等の配置を考え、安全面に配慮した計画を立てたい。
		加古川韋駄天決定戦	ウェルネス協会	令和5年11月25日(土)開催。 走ることは全てのスポーツの基本となることから、スポーツをする子供たちが増えることを目標に加古川俊足王決定戦(50m走)を開催しているが、その長距離版となる大会を開催した。	スポーツをすることと体力増進を目的に開催。第1回大会を開催し、今期の第2回大会は、より参加者が増えるようにPRしていきたい。	対象は小学生のため、体力にも差があることから、学年や性別により、走る距離を考慮したい。また、要望のあった、中学生以上の部門の開催も、検討していきたい。
		ウェルネス陸上競技教室	ウェルネス協会	スポーツの基礎となる「走る・跳ぶ・投げる」をテーマに、未来を担うこどもたちがアスリートの実力を体感し、今後のスポーツ活動に活かすことを目的に、トップアスリートを講師に招いた陸上競技教室を開催する。講師との日程があわず、開催を断念した。	開催日未定。 講師として、2023年世界陸上競技選手権男子やり投げ種目に出場したディーン元氣選手に依頼予定。2024年はオリンピックが開催されるため、出場を目指されているディーン選手には秋以降で、日程調整中。	2024年はオリンピックが開催されるため、それまでは競技に集中していただき、秋以降にイベント開催したい。小学生には物を遠くへ投げるということや、中高校生に世界大会出場の選手の動きを勉強してもらえるように計画したい。
		バドミントン教室	スポーツ・文化課	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、S/Jリーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施した。 日時:令和6年1月20日(土) 場所:総合体育館	競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、S/Jリーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施する。 日時:令和7年1月予定 場所:総合体育館	なし。

1 スポーツ参画人口の拡大						
No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
①	競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	小学生ボート体験教室	漕艇センター	・5月3日(水)には、ニッケパークタウンにてエルゴマシン体験会を実施し325人が体験した。また、市内外の小中学校のボート体験を多数受け入れた。 ・カヌー関係の事業も実施し2月時点で延べ800人以上の方に参加して頂いている。	前指定管理者に引き続き、各種ボートの大会やイベントの開催を予定している。また、新たに取り組みが始まるカヌーについても体験イベントや大会など幅広い方たちをターゲットとする企画を実施予定。	参加者獲得の為、広報や漕艇センターのホームページ等で発信している。また、チラシを作成し、市内の小学校及び公共施設に配布している。ボート体験教室の参加が伸び悩んでおり新たな宣伝方法や事業内容を検討したい。
		加古川市民さわやか賞	総務課	文化、スポーツ等の分野でめざましい活躍をし、市民に希望と活力を与えている個人及び団体を表彰した。 ※R2:5件、R3:22件、R4:24件(スポーツ分野のみ)R5:57件	関係者からの推薦等により、全国的規模の大会等で優秀な成績を収めた個人又は団体を把握し、表彰する。 表彰式は9月、12月、3月を予定。	関係者からの推薦を待つだけではなく、新聞記事やマスコミ報道等を注意深く確認するなどして候補者の把握に努める必要がある。
②	競技スポーツ指導者の育成・確保	障がい者スポーツ指導者の育成	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員に対して、兵庫県障害者スポーツ協会が主催する「障害者スポーツ指導者講習会」への参加を促したが、令和5年度の参加者はなかった。	障がい者スポーツに関する指導者の増加を目指し、スポーツ推進委員やスポーツサポーターボランティアに対して講習会への参加を促す予定。	指導者の活用を検討する必要がある。

2 スポーツを通じた共生社会の実現						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
(1)障がい者スポーツの振興						
①	障がい者スポーツの組織基盤の整備	障がい者スポーツ指導員講習会への参加促進	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員に対して、兵庫県障害者スポーツ協会が主催する「障害者スポーツ指導者講習会」への参加を促したが、令和5年度の参加者はなかった。	障がい者スポーツに関する指導者の増加を目指し、スポーツ推進委員やスポーツサポーターボランティアに対して講習会への参加を促す予定。	指導者の活用場を検討する必要がある。
②	スポーツ施設における障がい者等の利用促進	総合体育館改修事業	スポーツ・文化課			障がい者スポーツ活動の拠点となるよう活用について検討していく。
③	障がい者スポーツの実施機会の増加	ふれあいスポーツ教室	障がい者支援課	障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供することを目的に、ふれあいスポーツ教室を3回実施した。8月にスポーツ・文化課と共同開催する『かこバラスポーツ王国』、10月にポッチャ、11月にサウンドテーブルテニスを行った。サウンドテーブルテニスを除き、スポーツ推進委員に参加いただいた。	昨年と同様に全3回で実施予定。	障がい者スポーツの理解と普及を図る事業として、障害の有無にかかわらず、より多くの人が参加できるよう、実施方法及び募集方法を検討する必要がある。
		加古川スポーツカーニバル	スポーツ・文化課	11月3日(金・祝)に市立総合体育館にて開催し、約2,300名の参加があった。 「『スポーツを文化に!!』～日々の生活の中にスポーツを!!そして、健康な生活を!!～」をテーマとして、親子を対象とした体操や様々なスポーツの体験コーナーを設けて、市民がスポーツに親しめる機会を提供した。	11月3日(祝)に市立総合体育館にて開催予定。 実施内容については、主催団体の加古川市スポーツネットワーク委員会にて検討。	今後より充実した内容になるよう、スタッフや参加者にアンケートを行い、プログラム内容の改善を検討する必要がある。
		かこバラスポーツ王国 (パラリンピック機運醸成イベント)	スポーツ・文化課	8月20日(日)に市立総合体育館にて開催し、95名の参加があった。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供。 体験種目:車いすバスケットボール、ゴールボール、フライングディスク、ポッチャ、卓球バレー、シッティングバレーボール、ローリングバレーボール	6月29日(土)に市立総合体育館に開催予定。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供する。	障がい者スポーツの理解と普及を図る事業として、事業内容(規模や対象等)を検討する必要がある。
		加古川市ポッチャ交流大会	スポーツ・文化課	9月30日(土)に市立総合体育館にて開催し、32チームの参加があった。 かこバラスポーツ王国や加古川市バラスポーツチャレンジ(障がい者スポーツ)出前講座を通して普及しているポッチャで、交流大会を開催することにより、スポーツ交流を促進し、バラスポーツへのさらなる理解と普及を図る。	9月28日(土)に市立総合体育館にて開催予定。 かこバラスポーツ王国や加古川市バラスポーツチャレンジ(障がい者スポーツ)出前講座を通して普及しているポッチャで、交流大会を開催することにより、スポーツ交流を促進し、バラスポーツへのさらなる理解と普及を図る。	なし。
④	ノーマライゼーションの推進	加古川ツーデーマーチ	スポーツ・文化課	バリアフリーなイベントを目指し、居住地や等級等を問わない実行委員会独自の割引制度を実施した。	バリアフリーなイベントを目指し、居住地や等級等を問わない実行委員会独自の割引制度を実施予定。	なし。
		加古川マラソン大会	スポーツ・文化課	市民に開かれたバリアフリーな大会を目指し、視覚障がい者の参加者は、伴走者(1名)の参加料を不要とした。また聴覚障がい者への配慮として、開会式、総合本部に手話通訳者を配置した。	市民に開かれたバリアフリーな大会を目指し、聴覚障がい者及び視覚障がい者の参加者に配慮していく。	なし。
(2)健康・体力づくり事業の推進						
①	健康・スポーツに関する情報発信	LINE de 健康応援！	市民健康課	LINEアプリを活用し、市民が自主的に健康づくりに100日間取り組む事業。参加者は市民健康課公式LINEアカウントに登録後、「運動・食事・休養」の3つのテーマからそれぞれ健康づくり目標を選択・実践する。100日後に目標を達成した人に賞品を付与している。 100日間の取組期間中、LINEアプリを通じた健康情報の配信や参集型イベントとして運動教室等を実施した。 R5年度646名が登録。	継続実施。R6.5月からR6年度の参加者を募集予定。。 運動をテーマにした参集型イベントは、6月21日にニッケパークタウンで実施予定。	市からの一方的なLINE配信となり、目標の達成についても参加者自身の自己申告制のため、意識や行動変容について評価する客観的な指標がない。
		健康づくり講座	市民健康課	なし	生活習慣病予防を目的とした健康講座。 健康づくりをテーマに年間5回実施予定。 5回のうち1回は、運動実践指導士を講師として、日常生活の中で実践できる「プラス10(テン)」をテーマに講座を実施予定。	なし
		特定保健指導	国民健康保険課	特定保健指導対象者へ運動習慣の必要性を説明するとともに、健康運動指導士による運動教室を定期的に開催した。 (開催数:12回/年 参加者数:72名) 特定保健指導案内ちらしに健康づくりオンライン講座(運動の内容)のQRコードを掲載し、配付した。	特定保健指導対象者に生活習慣病予防のため、運動習慣の必要性を説明するとともに、健康運動士による運動教室を開催し、運動の場を提供する。	特定保健指導対象者の運動習慣の定着に向けて、それぞれの生活習慣に沿った取組みを考え、その効果を具体的に説明する必要がある。
①	健康・スポーツに関する情報発信	いきいき健康サークル	市民健康課	運動普及推進員が、加古川市実施の保健事業や介護予防事業に協力し、市民を対象に、市内の集会所等でストレッチやリズム体操等心身ともに健康を促す運動の普及啓発を行った。また「フレイル」の知識の周知や「ながら運動」の普及啓発を実施した。令和5年度の地域での活動数は24回、指導人数は366人(1月末時点)である。 また8月に実施した商業施設でのイベントのブースでは、参加者12名に対して、座ってできる体操の普及啓発を実施した。	引き続き、心身ともに健康を促す運動や知識の普及啓発を行う。	会員の多くが60歳以上であり、会員の高齢化が課題である。また、地域でボランティア活動を行う会員に偏りがあるため、全体の資質向上、新規会員のスキルアップを検討する必要がある。

2 スポーツを通じた共生社会の実現						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
②	散歩・ウォーキング・健康体操の推進	<再掲> かこがわ・新コンセプトウォーキングコース	スポーツ・文化課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布。	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布予定。	ウォーキングコースについて予算化されていないため、紙ベースでの在庫がなくなりつつある(市ホームページからも印刷可能)。
		<再掲> ウォーキングコースの奨励	観光協会	ホームページやSNSを活用した観光モデルコースの紹介等によるまち歩きを推奨した。	ホームページやSNSを活用した観光モデルコースの紹介等によるまち歩きを推奨する。	既存のウォーキングコースのより一層のPR及び新たなモデルコースの検討。
		<再掲> 運動普及推進(いきいき健康サークル)活動	市民健康課	運動普及推進員が、加古川市実施の保健事業や介護予防事業に協力し、市民を対象に、市内の集会所等でストレッチやリズム体操等心身ともに健康を促す運動の普及啓発を行った。また「フレイル」の知識の周知や「ながら運動」の普及啓発を実施した。令和5年度の地域での活動数は24回、指導人数は366人(1月末時点)である。 また8月に実施した商業施設でのイベントのブースでは、参加者12名に対して、座ってできる体操の普及啓発を実施した。	引き続き、心身ともに健康を促す運動や知識の普及啓発を行う。	会員の多くが60歳以上であり、会員の高齢化が課題である。また、地域でボランティア活動を行う会員に偏りがあるため、全体の資質向上、新規会員のスキルアップを検討する必要がある。
		<再掲> 出前健康講座	市民健康課	市内で活動する団体等を対象にした健康づくりを目的とした健康講座。日常生活の中で行うことができる体操やウォーキングなどについての情報提供を実施。R5年度は、「Let'sチャレンジ！運動習慣」をテーマに3団体に実施。	講座申し込みがあった団体に実施予定。 テーマは、「忙しくても大丈夫！無理なく体を動かそう」とし、「ながら運動」やプラス10(テン)について情報提供を行う。	なし
		ラジオ体操の推進	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員を派遣し、スポーツライフセミナーやいきいき健康サークル等の講習会でラジオ体操の指導を行った。	スポーツライフセミナーや高齢者大学、いきいき健康サークル等の講習会においてスポーツ推進委員がラジオ体操の指導を行う予定。	なし。
		いきいき百歳体操活動支援	高齢者・地域福祉課	いきいき百歳体操182会場、205団体、4686名登録 いきいき百歳講座(5回コース)、5会場、25回実施 参加者実人数86人、参加者延人数358人、修了者数52人 累計修了者数652人	・「いきいき百歳体操」の継続支援及び新規立上げ支援を行う。 ・「いきいき百歳体操」にて、介護予防・健康づくりの普及啓発を行う。 ・「いきいき百歳体操応援隊講座」を市内6箇所で実施する。	「いきいき百歳体操応援隊講座」講座修了者がより活躍できる場や方法を検討していく。 実施会場となる施設等を開拓するなど、新たな場所の確保が必要である。
③	スポーツ推進委員会の活用	スポーツ推進委員派遣事業	スポーツ・文化課	令和5年度は、20回の派遣事業を行い、市民のスポーツ活動の推進を図った。	市民がスポーツ・レクリエーション活動を行う際に、要望に応じてスポーツ推進委員を派遣し、スポーツ活動の推進を図る。	スポーツ推進委員会について市民に周知し、積極的な活用を促す必要がある。
		スポーツ推進委員研修会	スポーツ・文化課	イベントの開催に向けた研修を6回開催し、指導力及び資質向上を図った。	毎月1回程度、研修会を開催し、スポーツ推進委員としての指導力及び資質向上を図る。	なし。
(3)スポーツを通じた地域活性化						
①	地域におけるスポーツ環境・スポーツ情報の充実	公民館活動	社会教育課	昨年に引き続き、市内の公民館で複数のスポーツグループがスポーツ活動を行った。	昨年に引き続き、市内の公民館で複数のスポーツグループがスポーツ活動を行う予定。	なし。
		少年団活動	社会教育課	加古川市連合少年団(市内15団)は、地域のさまざまな活動を通して、青少年の健全育成を行うことを目的とし活動している。 連合少年団事業として、サバイバルキャンプは台風の影響で中止となったが、GREENIAであそぼうを企画、実施し、アワイチも実施した。	加古川市連合少年団(市内13団)は、地域のさまざまな活動を通して、青少年の健全育成を行うことを目的とし活動している。 連合少年団事業として、サバイバルキャンプやアワイチ等を実施予定。	少年団員数は、令和元年度の7,742人に比較し、令和5年度には5,093人と減少している。また、コロナ禍もあり地域のソフトボール、バレーボールチームの活動は縮小傾向である。役員不足も課題となるなかで、事業のノウハウを引き継いでいく必要がある。

2 スポーツを通じた共生社会の実現						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
②	スポーツイベントの開催	<再掲> 加古川スポーツカーニバル	スポーツ・文化課	11月3日(金・祝)に市立総合体育館にて開催し、約2,300名の参加があった。 『『スポーツを文化に!!』～日々の生活の中にスポーツを!!そして、健康な生活を!!～』をテーマとして、親子を対象とした体操や様々なスポーツの体験コーナーを設けて、市民がスポーツに親しめる機会を提供した。	11月3日(日・祝)に市立総合体育館にて開催予定。 実施内容については、主催団体の加古川市スポーツネットワーク委員会にて検討。	今後より充実した内容になるよう、スタッフや参加者にアンケートを行い、プログラム内容の改善を検討する必要がある。
		<再掲> かこバラスポーツ王国 (パラリンピック機運醸成イベント)	スポーツ・文化課	8月20日(日)に市立総合体育館にて開催し、95名の参加があった。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供。 体験種目:車いすバスケットボール、ゴールボール、フライングディスク、ボッチャ、卓球バレー、シッティングバレーボール、ローリングバレーボール	6月29日(土)に市立総合体育館に開催予定。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供する。	障がい者スポーツの理解と普及を図る事業として、事業内容(規模や対象等)を検討する必要がある。
		加古川カップ綱引大会	スポーツ・文化課	加古川市スポーツ協会が主催し、スポーツを通して気軽に健康・体力づくりや仲間づくりをすることを目的に、2月25日(日)に市立総合体育館にて開催。 「企業対抗の部」、「男子の部」、「男女混合の部」、「小学生の部」、「チャレンジの部」の5部門で開催し、38チーム、約420名が参加した。(※「市内小学校対抗戦」は募集していない。) なお、広報手段として、校長会における参加促進の依頼、募集要項等の小学校や公共施設への配布、広報かこがわや市SNSを活用した記事掲載等を行った。また、加古川商工会議所に依頼し、商工かこがわと併せて、市内企業へ募集要項を配布する等、積極的にPRを実施した。	2月23日(日)に市立総合体育館にて第37回大会を開催予定。募集開始時期を年内とする等、早期にPRを行う予定。 部門については、主催団体である市スポーツ協会にて検討する。	これまで「市内小学校対抗戦」は、大変な盛り上がりを見せており、学校からも小学生最後の思い出作りとして好評であったが、教職員の働き方改革のため休日に児童を引率して大会に出場することが難しい状況に変化している。今後のあり方について検討する必要がある。
		健康・体力づくり事業	スポーツ・文化課	加古川市スポーツ協会が主催し、市民の健康・体力づくりを目的に、初心者の方が参加できる大会・教室を実施。令和5年度については、15事業を実施した。	加古川市スポーツ協会が主催し、市民の健康・体力づくりを目的に、初心者の方が参加できる大会、教室を実施予定。	協会に加入していない一般市民の参加のさらなる増加に向け、事業実施の検討を行う。
		加古川市民レガッタ	スポーツ・文化課 (漕艇センター)	加古川市レガッタ事業実行委員会が主催し、8月5日(土)・6日(日)の2日間にわたり市民レガッタを実施。両日合わせて84クルー、519名が参加した。また、ボランティア54名、参加者サポーター45名の協力を得た。	第31回加古川レガッタは、8月4日(日)に上限を130クルーとして、1日開催とする予定。	猛暑の中での開催となっており、熱中症対策等の対応が課題である。
		加古川レガッタ(関西学生秋季選手権)	スポーツ・文化課 (漕艇センター)	11月3日(金)～5日(日)に加古川市立漕艇センター前コースで開催した。20大学・学部、124クルー(332名)が参加。	加古川市立漕艇センター前コースで11月2日(土)～4日(月・振休)の3日間で開催予定。	使用出来る風呂の数が足りないため、近隣民間銭湯等の協力が必要である。また、各近隣町内会長のご意見を参考にしながら大会準備を進める。
		カヌーイベント	スポーツ・文化課	7月1日(土)・2日(日)にカヌー体験イベントを予定していたが、加古川大堰の放流量の影響で、7月1日(土)は中止となった。2日(日)に138名が参加した。 10月21日(土)・22日(日)にカヌーPRイベントを開催。ゲストとしてオリンピックの水本 圭治氏、田中 雄己氏を招致し、両日合わせて392名が参加。	令和6年度以降は、指定管理事業となるが、例年と同程度の事業を指定管理事業者が実施予定。	なし。
		加古川ツデーマーチ	スポーツ・文化課	心と体の健康を目的に加古川ツデーマーチ実行委員会が主催し、11月11日(土)・12日(日)の2日間にわたって歩くウォーキングイベントとして開催した。設定コースは両日とも3コース(20・10・5km)。 参加者数 11月11日(土):2,372人 11月12日(日):2,063人 合計:4,435人	心と体の健康を目的に加古川ツデーマーチ実行委員会が主催し、11月9日(土)・10日(日)の2日間にわたって歩くウォーキングイベントとして開催予定。設定コースは両日とも3コース(20・10・5km)。	参加者数の減少及びボランティアスタッフの確保が困難になりつつあることから、今後の事業の方向性について検討していく必要がある。
		加古川マラソン大会	スポーツ・文化課	市民参加型スポーツイベントとして加古川マラソン大会実行委員会が主催し、12月17日(日)に加古川河川敷で開催。設定種目はフルマラソン・10km・中高生5km・中学生3km・ファミリー2km。全体で3,654名の申込みがあり、3,115名が出走した。ゲストとして大平 サブロー氏、小平奈緒氏を招致した。	市民参加型スポーツイベントとして加古川マラソン大会実行委員会が主催し、12月15日(日)に加古川河川敷で開催予定	参加者数が減少傾向にあるが、減少防止の工夫をし、コースの安全確保・救護体制の充実を含めた、大会レベルの維持向上を目指す。

2 スポーツを通じた共生社会の実現						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
③	地域でのスポーツイベントの開催	世代間交流学習会	社会教育課	地域の教育力向上及び絆を深め、ともに支えあう社会づくりを目的とし、各地域が主体となって実施した。	地域の教育力向上及び絆を深め、ともに支えあう社会づくりを目的とし、各地域が主体となって実施する。	規模の小さい町内会や、高齢化が進む町内会では、世代間交流学習会の実施が困難な地域がある。
④	ホストタウンを契機としたスポーツ交流の促進	加古川市スポーツサポーター養成講座	スポーツ・文化課	かこバラスポーツ王国及び加古川市ボッチャ交流大会にて延13名がイベントサポート業務を行った。	事業実施の際には、スポーツサポーターへの協力等の依頼を行う予定。	加古川市スポーツサポーターの活動を促進するとともに、スポーツサポーターの活用方法等を検討する必要がある。

3 スポーツ環境の充実						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
(1) 身近に利用できる「場所」の確保						
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	総合体育館	①令和4年度からキッズダンス教室に保護者も参加できる枠を作り、子供と一緒にダンスを楽しむ教室を開催している。令和5年度ではBリーグ加古川大会でのオープニングセレモニーとして観客の前で踊れるほどとなった。 ②昼間の閑散時間に、高齢者を対象とした身体を動かせるスポーツ教室開講の体験会を実施した。好評との意見を伺った。 ③卓球・バドミントン・バレーボール等多くの方が参加する教室の開催を行った。	①親子で参加出来る教室開講を検討している。 ②昼間の閑散時間に、高齢者を対象とした身体を動かせるスポーツ教室開講の検討をしている。 ③地域の方が参加しやすいスポーツ活動を模索する。	より多くの方に体育館実施教室に参加いただけるよう、広報かがわに掲載、HPの更新等、周知に力を入れる。また、SNSの利用も検討する。 令和6年度は多くのイベント・教室が実施予定のため、掲載内容に誤りが無いか確認し、ミスなく利用者様に周知を行う。
			運動公園陸上競技場	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、令和5年度水曜コースは472名の参加があり、土日曜コースは767名の参加があった。選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、大会出場や自己記録の更新を目的としたトレーニングを行った。令和5年度は728名の参加があった。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会や全国大会の大舞台での活躍を目標とした専門的なトレーニングを行った。令和5年度は128名の参加があった。 ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象、気持ちよく身体を動かす事を基本とし、歩行、筋トレ、ストレッチを行った。令和5年度は314名の参加があり、コロナ禍以前の参加者数となった。 新型コロナウイルスに加え、新たにインフルエンザが流行したが、無事に全日程を終えることが出来た。引き続き、参加者の安全に配慮した、参加しやすい教室開催を目指します。	①陸上教室 普及コースは小学3～6年生を対象にしており、バランスの取れた身体作りを基本とし、春から秋にかけては、短距離走、リレー、走り幅跳び等、冬は長距離走や駅伝の練習を行う。1年を通して参加出来る教室の実施を目指す。 選手育成コースは小学5～6年生を対象とし、「短距離・跳躍」「中・長距離」班に分けて、大会出場や自己記録の更新を目的としたトレーニングを行う。 ②投てきコース 中学生対象の教室で、県大会や全国大会の大舞台での活躍を目標とする。砲丸投げ、円盤投げを中心とした専門的なトレーニングを行う。 ③リフレッシュウォーキング教室 21歳以上対象、気持ちよく身体を動かす事を基本とし、歩行、筋トレ、ストレッチを行う。広報掲載により更なる参加者の獲得を目指す。	①毎年多くの小学生が参加され、地域に浸透している教室なので、より多くの参加者獲得を目指し、参加する生徒さんに満足頂けるような教室を実施する。また、選手育成コースからは、目標大会出場や、自己記録更新を目的とするため、参加者にとってより良い結果につながるよう教室を実施する。 ②教室の参加者、卒業生が、中学、高校に進学し、大会で素晴らしい活躍をしている。引き続き多くの生徒が活躍できるような指導に努める。 ③昨年度のリフレッシュウォーキング教室は多くの新規参加者が増え、地域に浸透しつつある。継続して参加出来る教室開催を目指す。 コロナ禍以降、徐々にではあるが参加者が増加している。広報かがわを利用し、さらなる参加者数の増加を目指すとともに、参加者の安全に配慮した、参加しやすい教室開催を目指す。
			日岡山体育館	①前年度までワクチン接種会場等により実施できなかったビクトリークリニックを開催できた。 ②感染対策を施しながら教室やイベントを開催することができた。	①競技団体と協働で大会等の事業を行う。 ②加古川観光協会などと連携しロゲイニングイベントを開催する。	なし
			武道館	①利用者のニーズに合わせた、自主事業やイベントを展開することができた。 ②7施設全体を使った親子スポーツスタンプラリーを実施した。 ③新規利用者や自主事業参加者へ利用促進を行うことができた。	①武道だけにとらわれず、道場を体操や催事などに有効活用する。 ②7施設全体を使ったイベントを開催する。	ホームページやSNSを使い訴求し、新たな顧客開拓が必要。
			日岡山公園グラウンド	①幼児や小学生など年齢帯に合わせた、サッカースクールを展開することができた。 ②子供を対象にしたかけっこ教室を単発イベントとして開催した。 ③グラウンドゴルフ協会と協働し、大会を開催した。	①ジュニアサッカースクールで他スクール交流試合などを行う。 ②子供を対象に苦手克服教室を行う。 ③競技団体と協働で大会等の事業を行う。	コロナ過の影響で減少した利用者呼び戻す対策が必要。
			日岡山公園第1テニスコート	①定期的にテニスネットを備品購入し、満足度向上を図った。 ②7施設全体を使った親子スポーツスタンプラリーイベントを行った。 ③ソフトテニス協会と協働した大会を開催した。	①競技団体と協働で大会等の事業を行う。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③定期的な砂入れやニーズに合った備品を購入し、利用者満足度を高める。	なし
			日岡山公園第2テニスコート	①テニススクールの新規入会者獲得は苦戦したがレベル別の指導は行うことができた。 ②7施設全体を使った親子スポーツスタンプラリーイベントを行った。 ③雨天によりテニススクール生を対象とした大会は中止になったがスクール内でゲーム形式を取り入れた。	①テニススクールの訴求を強化し、体験会などを実施し新規入会者獲得を目指す。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③スクール内で試合やイベントを行い、スクール参加者のモチベーションを上げる。	冬場のコート凍結対策が必要。
			漕艇センター	①漕艇センター主催「第13回KAKOGAWAスプリングカップボート大会」は、前日の大雨で中止とした。 ②加古川ボート協会主催「第77回県民大会兼第24回加古川市長杯市長杯ボート競技会兼第32回全国市町村交流レガッタ下諏訪大会選考会」を開催。28クルーが参加した。 「第11回加古川ボート会長杯～ムサン杯レース～」は、コース設営前行ったが前日の大雨でコースが破壊され中止とした。 ③加古川市レガッタ事業実行委員会主催「第30回加古川市民レガッタ」、「第34回加古川レガッタ」を実施した。 ④漕艇センターと加古川ボート協会との共同主催「Head of the kakogawa2023」は実施。普段使用できない水域を利用しての大会で参加者からは喜びの声を聞かれた。 ⑤アドラー心理学セミナーは3回開催し、普段漕艇センターを利用しない方々来館があり施設のPRもできた。	①スプリングカップボート大会 ②加古川市長杯(仮)全国市町村交流レガッタ選考会 ③加古川市レガッタ事業実行委員会主催「加古川市民レガッタ」「加古川レガッタ」 ④ムサン杯(仮) ⑤カヌー事業等	近年シーズン中に大雨が降ることが多く、大会前に雨が降ると加古川大堰の放流量が規定値を超過することがあり中止した大会もある。 夏の大会は猛暑対策を講じながらの実施となり、スタッフや関係者の体調管理を行いながら準備から進めることが必要となる。

3 スポーツ環境の充実						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	ウェルネスパーク	①3世代交流参加型イベントや教室を実施し、子どもと親子の触れ合いの場は提供できたと感じております。検討事項としてはおじいちゃんおばあちゃん世代の取り込みを強化したいと考えております。 ②誰でも参加できるイベントを実施し、様々な方に参加していただきました。 ③「高齢者運動教室」を実施し、外部からのお客様に参加していただきました。また施設利用の新規登録をされた方もいらっしゃいました。	①幅広い年齢層の方が参加できるイベントの提供 赤ちゃんから大人まで参加できる教室を提供し、魅力ある施設作りを目指します。 ②インクルーシブスポーツの提供 すべての方が親しむ運動の場作りを提供し、安心してご利用いただける施設作りを目指します。	障がい者施設へのご案内やヒアリングが検討事項となります。
			スポーツ交流館	・施設の充実、美化促進 結果：プール及びジムの利用促進、消毒活動の実施 ・子育て世代を対象とした教室事業の充実 結果：教室事業を中心に子育て世代や親子で参加していただける教室を継続した ・多様なウェルネスプログラムの展開 結果：幅広い年齢層の方とご意見交換をし、ニーズに沿ったプログラムを展開や新たなプログラムの開催を実施 ・障がい者スポーツ体験会、ニュースポーツ体験会の実施 結果：体験会を実施、様々な分野のスポーツに触れいただく場を提供 ・教室体験会の実施、広報活動 結果：各教室の体験会・見学会の実施をし、新規参加者の開拓 ・フリーペーパーの活用 結果：施設情報の発信や教室情報を掲載し、新規利用者の開拓及び施設の周知	・施設の充実、美化促進を図り、各老朽箇所や修繕への対応 ・SDGsに配慮した施設運営 ・子育て世代を対象とした教室事業の開催 ・運動の気きっかけや継続に繋がる事業の開催 ・多様なウェルネスプログラムの展開 ・障がい者スポーツ体験会、ニュースポーツ体験会、スポーツ分野やアスリートから学ぶ事業の実施や開催 ・教室体験会の実施、広報活動	更衣室において障がいをお持ちの方やLGBTの方が不都合なくご利用いただける設計となっていない点
			志方体育館	シェイプアップ教室 予定通り10回コースを年4回実施した。	シェイプアップ教室 10回コースを年4回実施予定。	参加者の増加に向けて、引き続き広報活動に努めていく。
			日岡市民プール	①施設、設備のメンテナンスを計画的に行い、大きな事故事を発生させず安全性に努めた。 ②消毒液設置やロッカー内換気を行い、感染対策を施しながら運営を行った。	①施設、設備の状態チェックを行い、安全安心な運営に努める。 ②短期水泳教室など新たな事業を展開する。	ホームページやSNSを使い訴求し、新たな顧客開拓が必要。
			志方東公園テニス	①感染対策を施しながら、利用者とコミュニケーションを取り安心安全な施設運営を行うことができた。 ②テニス教室の目標利用者600人を達成できた。	①ニーズに合ったマシン導入を行い満足度アップを図る。 ②初回講習枠を増やし、新たな顧客獲得に注力する。	参加者の増加に向けて、引き続き広報活動に努めていく。
		トレーニング室の利用促進	日岡山体育館	①マシン消毒など感染対策を施しながら、利用者とコミュニケーションを取り安心安全な施設運営を行うことができた。 ②新規利用者獲得に向け、ニーズに合わせたトレーニングマシンを導入した。	①ニーズに合ったマシン導入を行い満足度アップを図る。 ②初回講習枠を増やし、新たな顧客獲得に注力する。	24時間フィットネス施設などとの差別化が必要。
		トレーニングジムの利用促進	総合体育館	コロナ禍で中止していたスタジオレッスンの実施を行った。	コロナ禍で中止していたInBody体験会の開催を検討するとともに、スタジオレッスンの回数増加を検討する。	朝のスタジオレッスン再開や新型コロナウイルス感染緩和により、利用者が増加した。初めて利用する方に対し、トレーニングジムの利用ルールを明確化する。
		プール及びジムの利用促進	ウェルネスパーク	ジム利用者への積極的なアドバイス・アプローチをできるように研修を重ね、お客様へアドバイス・アプローチの積極性がついてきたと感じております。ただまだお客様に満足いただけていない部分もありますので、今後も研修を重ねより良い施設を作っていきます。	お客様の利用が増えてきておりますので、来館されたお客様が笑顔で帰れるように安心な施設作り(マシン利用に関するアドバイスや健康に関するアドバイスなど)をします。またHPやSNSを活用し若い世代へのアプローチを強化します。	検討事項はお客様が増えてきており、更衣室にあるロッカーの数に不安があります。
			スポーツ交流館	・開館時間の延長 結果：多様なライフスタイルに貢献 ・「ラウンドフィットネス®」の設置 結果：運動をスタートアップする方へ運動ツールの提供 ・フリーペーパーの活用 結果：施設情報や教室情報を掲載し、コロナ禍からの利用者回復	・開館時間の延長の継続 ・「ラウンドフィットネス®」の設置を継続 ・フリーペーパーやSNSの活用(施設広報の作成等)	なし
		競技場の個人利用促進	運動公園陸上競技場	観覧席の鳥の糞を清掃した。また、忌避剤を散布し、鳥が寄り付かなくすることで、陸上競技場を綺麗に保った。 加古川市出身で、世界陸上に出場した「宇都宮絵莉」選手「後藤夢」選手の横断幕を設置した。	引き続き、利用者が満足する施設運営に努める。	より多くの方に陸上競技場を利用いただけるよう、広報かこがわに掲載、HPの更新等、周知に力を入れる。また、SNSの導入も検討する。 綺麗な加古川運動公園陸上競技場を保つため、日々の清掃活動に力を入れる。
②	学校体育施設等の開放	学校体育施設等の開放	教育総務課 学校施設課	引き続き、全学校園の体育館などの施設を開放し、地域のスポーツ活動の場として活用する。令和5年度は、施設の老朽化対策として、陵南中学校の床改修、加古川養護学校の照明設備改修、別府小外12校と神吉中外2校でリースを活用した照明設備取替を実施した。	引き続き、全学校園の体育館などの施設を開放し、地域のスポーツ活動の場として活用する。	学校体育施設のフローリングや壁面等が老朽化しているため、計画的な改修や修繕を進めていく。
③	スポーツ施設に関する情報提供・利用手続きの簡素化	スポーツ施設等予約システム	スポーツ・文化課	スポーツ施設等予約システムによる市内施設の情報提供や予約等のサービスを提供し、スポーツ施設の利用手続きを簡素化した。	スポーツ施設等予約システムによる市内施設の情報提供や予約等のサービスを継続する。	長年、システムの更新等がされていないため、新たなシステムの導入を検討する必要がある。

3 スポーツ環境の充実						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
(2) 観戦スポーツの推進						
①	スポーツ大会の情報提供	Bリーグ加古川大会	スポーツ・文化課	ウェルネススポーツ推進事業の一環としてBリーグ加古川大会を開催し、市内及び市外から多くの観戦者にトップレベルの選手によるすばらしいプレーを観戦する機会を提供した。 日時: 令和6年3月2日(土)、3日(日) 場所: 総合体育館	ウェルネススポーツ推進事業の一環としてBリーグ加古川大会を開催し、市内及び市外から多くの観戦者にトップレベルの選手によるすばらしいプレーを観戦する機会を提供する。 日時: 令和7年3月予定 場所: 総合体育館	なし。
		Vプレミアリーグ女子バレーボール加古川大会	スポーツ・文化課	一流選手による魅力あるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの参加機会の拡大を図るため、女子バレーボールの国内最高峰であるVリーグ女子公式戦を開催した。 日時: 令和5年11月25日(土)、26日(日) 場所: 総合体育館	一流選手による魅力あるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの参加機会の拡大を図るため、女子バレーボールの国内最高峰であるVリーグ女子公式戦を開催する。 日時: 令和6年11月予定 場所: 総合体育館	なし。
②	大規模競技大会の誘致	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿誘致	スポーツ・文化課			
③	身近な観戦スポーツの推進	スポーツタウン加古川.jpのHP	スポーツ・文化課	掲載なし。	HPを活用し、市内のスポーツイベントの情報提供を行う。	HPの効果的な活用の検討が必要である。
(3) スポーツボランティアや指導者の発掘と養成						
①	スポーツボランティアの養成・確保	指導者研修会の情報提供	スポーツ・文化課	県スポーツ協会が主催するスポーツ指導者研修会や県スポーツ推進委員会が主催するニューリーダー研修会等について、スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行った。	県(スポーツ協会・スポーツ推進委員会)が主催するスポーツ指導者対象の研修会等について、スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行う。	なし。
		加古川マラソン大会	スポーツ・文化課	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心肺蘇生法講習を実施した。	加古川マラソンを支えるボランティアの育成を目的として、給水所・走路の監察にかかるボランティアの方々に、AEDを用いた心肺蘇生法講習を実施予定。	大会の安全確保のため、AED講習の継続及び救護体制の強化を目指す。
		加古川カップ綱引大会審判講習会	スポーツ・文化課	加古川市スポーツ協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、正式な資格を持たない者で担っている。(スポーツ協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員等)その者たちに対し、公認審判員の経験者(スポーツ推進委員)が審判の講習を2回実施し、大会参加者(チーム)に対しても綱の引き方指導を行った。	加古川市スポーツ協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、正式な資格を持たない者で担っている。(スポーツ協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員等)その者たちに対し、公認審判員の経験者(スポーツ推進委員)が審判の講習を2回実施予定。	当日の審判について、加古川市スポーツ推進委員に頼りすぎている傾向がある。加古川市スポーツ協会内で、さらなる審判員の養成を検討する必要がある。
②	スポーツ指導者の養成・確保	<再掲> 加古川市スポーツサポーター養成講座	スポーツ・文化課	かこパラスポーツ王国及び加古川市ボッチャ交流大会にて延13名がイベントサポート業務を行った。	事業実施の際には、スポーツサポーターへの協力等の依頼を行う予定。	加古川市スポーツサポーターの活動を促進するとともに、スポーツサポーターの活用方法等を検討する必要がある。

3 スポーツ環境の充実						
No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和5年度の取り組み結果	令和6年度実施予定	課題・検討事項等
(4)スポーツについての情報発信						
①	多角的なスポーツ情報の提供	広報かこがわ情報	広報・行政経営課	実施が決定した事業について、引き続き周知に努めた。	実施が決定した事業について、引き続き周知に努める。	参加申込につながるような周知に努める。
		<再掲> スポーツタウン加古川.jpのHP	スポーツ・文化課	掲載なし。	HPを活用し、市内のスポーツイベントの情報提供を行う。	HPの効果的な活用の検討が必要である。
②	スポーツの情報発信方法の工夫	市スポーツイベント情報	スポーツ・文化課	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページや「イベントカレンダー」に最新の市スポーツイベントの状況を掲載した。	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページや「イベントカレンダー」に最新の市スポーツイベントの状況を掲載する。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧できるため、大会スケジュールや教室等の情報掲載を各施設へ促進する。	こまめに更新し、常に最新の情報が掲載されている状態を維持していきたい。
		スポーツ推進委員だよりのHP掲載	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員だより「HAPPYスポーツ」の第60号を7月、第61号を2月に発行。関係者及び一部の公共施設への配付だけではなく、市HPに掲載することで、身近な体力づくりやスポーツ情報を提供。	スポーツ推進委員だより「HAPPYスポーツ(第62号・第63号)」を発行予定。(年2回)。関係者及び一部の公共施設への配付だけではなく、市HPへの掲載、またイベント参加市民への配布により情報提供に努める。	スポーツ推進委員だより「HAPPYスポーツ」を活用した効果的なイベント及びスポーツ推進委員の周知の検討が必要である。
		播磨圏域連携中枢都市圏連携事業(8市8町)	スポーツ・文化課	播磨圏域8市8町のスポーツイベント等の情報を、「ひめじスポーツコミッションHP」で掲載しており、市内外問わず参加者を募集する事業(加古川マラソン大会・綱引大会等)について掲載を依頼した。	播磨圏域8市8町のスポーツイベント等の情報を、「ひめじスポーツコミッションHP」を十分に活用して発信するとともに、スポーツ情勢についても情報共有を行っていく。	「ひめじスポーツコミッションHP」への掲載は行ったが効果は図れていない。引き続き情報提供や周知方法について検討する必要がある。
(5)総合型地域スポーツクラブの充実						
①	NPO法人加古川総合スポーツクラブの質的な充実	スポーツクラブ活動の推進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	ヴィジョン・ミッションを行動指針としてクラブ運営をアップデートしながら、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している36種目をホームページや募集チラシで広報するとともに、総合スポーツクラブの魅力を伝えるイベントとして「スポーツクラブフェスタ」を開催した。またエリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催を通して市民への認知度の向上に努めるとともに障がい者スポーツの普及・啓発を図った。さらに日本スポーツ協会登録クラブとして県下の登録クラブとの情報の共有を図り、魅力あるクラブ運営を目指した。	ヴィジョン・ミッションを行動指針としてクラブ運営をアップデートしながら、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している36種目をホームページや募集チラシで広報する。またエリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催や開設スポーツ活動を通して市民への認知度の向上に努めるとともに障がい者スポーツの普及・啓発を図る。さらに日本スポーツ協会登録クラブとして全国の登録クラブとの情報の共有を図り、魅力あるクラブ運営を目指す。	①人材発掘・育成 ②活動施設確保・充実 ③法人運営組織改革検討・財源確保 ④クラブの魅力づくり(総合型地域スポーツクラブ認証制度への取組) ⑤地域貢献・交流 ⑥スポーツ指導者育成(バラスポーツ含)及び中学校部活動への支援
		スポーツクラブマネージャー研修会	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	運営委員会(毎月開催)→エリアマネジャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行うとともに、指導者研修会の開催(11/23:スポーツハラスメントのない活動を目指して)及びアシスタントマネジャー資格を2名が取得した。	運営委員会(毎月開催)→エリアマネジャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行う。指導者研修会の開催(中学校部活動への支援)及び公認スポーツ指導者資格取得の推進並びに事務局機能の充実。	①指導者養成講座の開設 ②エリアクラブ運営役員及び開設種目代表者の新陳代謝促進
②	地域の課題解決に向けた取組の推進	クラブハウスの利用促進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	スポーツクラブの会議及び活動場所(ボードダーディング、書道、ギター)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体が利用した。	スポーツクラブの会議や活動時の休憩場所及び活動場所(ボードダーディング、ギター)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体の利用を促進する。	①老朽化に伴う修理補修
③	運動部活動への協力体制の拡充	準備委員会等の開催	スポーツ・文化課 学校教育課	加古川市中学校部活動外部技術指導者数ー25名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和5年度配置実績 配置校ー11校(中部、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数ー15種目(野球1名、バレーボール5名、バスケットボール3名、ソフトテニス2名、陸上競技2名、柔道1名、剣道3名、バドミントン1名、ハンドボール1名、卓球1名、吹奏楽1名、生活1名、コーラス1名、演劇1名、国際交流1名)	【学校教育課】 加古川市中学校義務教育学校部活動外部技術指導者数ー27名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和6年度配置予定 配置校ー12校(加古川、中部、浜の宮、両荘、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数ー未定	教職員の人事異動等により、部活動において、専門的な指導をすることができる教師が不足しており、中学校の部活動支援に対するニーズは年々高まっている。 また、平成29年3月14日に学校教育法施行規則の一部が改正され、部活動指導員が顧問となることが可能となった。加えて、令和3年2月17日付け文科省通知『『学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について』を受けた公立学校の教師等の兼職兼業の取扱い等について』を受けて、本市における部活動についてのあり方を検討するとともに、今後の部活動の地域移行への対応も考慮し、外部技術指導者に係る規則の整備など、引き続き検討していくことが必要である。